



本当に必要？ 救急車はいのちをつなぐ乗り物です。適正利用にご協力を！

文化財防火デー 消防署・消防団合同訓練

- 1月22日(日) 9時～10時
訓練場所／松葉観音堂(清水111番地1)
実施機関／清水消防署・有田川町消防団清水支団
※雨天中止(小雨決行)
- 1月29日(日) 10時～11時
訓練場所／法音寺(岩野河364)
実施機関／吉備金屋消防署・有田川町消防団金屋支団
※雨天延期(小雨決行)
延期の場合は2月4日(土)



文化財防火デー

昭和24(1949)年1月26日に、法隆寺の金堂壁画が焼損したことから、昭和30年以降、毎年この日を「文化財防火デー」と定めて、文化財愛護思想の高揚を図るため、全国的に

防火運動が展開されています。これに伴い、消防署・消防団合同の消防訓練を実施予定です。
文化財はかけがえのない地域の歴史財産です。近くでの火の取り扱いには注意しましょう。

消防だより

有田川町消防本部 ☎52・5950
吉備金屋消防署 ☎52・5950
清水消防署 ☎25・1243
病院紹介(和歌山県救急医療情報センター) ☎073・426・1199

火災……………12件
救急……………246件
救助……………21件
(平成28年11月30日現在)

昨年の出動など(累計)

地震による 電気火災対策を！

東日本大震災では、電気器具の転倒などによる火災や、停電後の電気復旧時に発生する通電火災が多発。同震災で発生した火災原因のうち、電気関係の火災が6割以上を占めました。

●火災事例

地震で本棚が倒れ、雑誌が電気ストーブ周辺に散乱。停電した状態から電気が復旧し、ストーブが作動したことにより、雑誌に引火し火災が発生。

この対策として感震ブレーカーが効果的です。

●感震ブレーカーとは？

地震の揺れを感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止める装置です。

●感震ブレーカーの種類

分電盤タイプ(内蔵型)	分電盤タイプ(後付型)	コンセントタイプ	簡易タイプ
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。 約5～8万円(標準的なもの)	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。 約2万円	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。 約5,000円～2万円	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。 3,000円～4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

(注) 住宅分電盤の種類に適した製品をお選びください。

感震ブレーカーを設置して 電気火災から家と地域を守ろう！

付けましたか？ 住宅用火災報知器

全ての寝室と階段(2階に寝室がある場合)に必要です。正しい場所に設置されているか確認してください。

